

# あしよた

2011.11.10

招の元  
大相撲・尾上部屋  
芦北合宿

みんなで大関を  
たおすぞー



# 大観衆 間近で観戦！



大相撲・尾上部屋が芦北町にやってきました。尾上部屋の一行は10月17日から10月24日までの7泊8日の日程で芦北町交流センターで合宿を行いました。この合宿は、大相撲・芦北合宿実行委員会（林田孝敏委員長・芦北郡相撲連盟会長）が宇土市出身の元小結濱ノ嶋関が師匠を務める尾上部屋の合宿誘致を熊本県相撲協会を通じて行っており、今回の実現となりました。

芦北に来たのは尾上親方と大関把瑠都関（エストニア出身）、天鑑鵬関（玉名市出身）、里山関（鹿児島県奄美市出身）、濱栄光（東京都立川市出身）、深海山（天草市出身）



▲歓迎レセプションでの鏡開き

の計6人。  
10月17日には、合宿所である交流センターで歓迎レセプションが行われ、尾上部屋の合宿を招聘した実行委員会や関係者約100人で尾上部屋一行を盛大に歓迎しました。  
竹崎町長は「待望久しかった大相撲・尾上部屋の合宿誘致が実現できて大変ありがたい。芦北町は宮相撲や高校選手権大会、ちびっこ相撲が行われるなど元々相撲が盛んな地域。現在、大相撲界は厳しい環境下にあります。しかし国技である相撲を国民一人ひとりが支援し盛り上げていかなければならない。この合宿がその一助になればと願っています」とあいさつ。

尾上親方は「芦北町は佐敷諏訪神社での相撲大会や芦北高校での合宿など学生の頃からお世話になった場所です。その芦北町で合宿ができるということは大変嬉しく思います。相撲を通して元気を出してもらえよう一生懸命合宿に取り組みます」とあいさつされました。

翌18日から稽古が始まりました。稽古は午前中のみで一般観覧は無料。お相撲さんを間近に見ようと連日、大勢の方が観覧に訪れました。延べ3,200人も観客が交流センターに来館され、迫力ある大相撲の稽古を固唾を飲んで真剣に観覧されていきました。

れていきました。

稽古の終盤では、観覧に来ていた町内の保育園児と交流。大きな体のお相撲さんに驚き、怖がる園児もいましたが、大勢で一齐に立ち向かう園児たちの力を前に把瑠都関も土俵を割るサービスを見せました。

芦北トレジャージュニア相撲クラブの子どもたちも力士たちに直接指導してもらう機会を与えていただきました。なかなか稽古をつけてもらえない力士を相手に最初は緊張した面持ちでぶつかり稽古をしていました。しかし、すぐに肩で息をし、足がついていけなくなりました。尾上親方から「まだまだ」、「もう一回」と厳しい言葉がかけられていました。稽古後には「みんないいものを持っていく。これからも相撲を続け

ていくように」と声をかけてもらいました。

稽古で疲れているにもかかわらず、観客と交流を持ちたいという尾上部屋の意向もあり、稽古後は写真撮影や握手、サインに時間の許す限り応じていました。赤ちゃんを力士に抱っこしてもらったの写真撮影を頼まれる方も多数いました。



▶天鑑鵬関に胸を借りました



▲園児みんなではっけよーい！



▲尾上親方から指導を受ける芦北トレジャージュニア相撲クラブのメンバー

## 稽古の後は

合宿期間中の午前中は稽古に精を出されましたが、午後からは、くまもと芦北療育医療センターや県立芦北養護学校、田の浦荘など町内の福祉施設7か所の慰問をされました。各福祉施設では熱烈的な歓迎を受けました。尾上親方は「皆さんに元気を出してもらえよう訪問しました。九州場所でのいい結果を残せるよう頑張りますので、皆さんの応援よろしくお願いします」とあいさつされ、関取を皆さんに紹介し、入所者の方々と握手や写真撮影を行いました。

## 福祉施設での記念撮影



入所者の方々は「おおきかねー」、「把瑠都関、九州場所は優勝せんばんよ」といった声が上がっていました。

また、うたせ船にも乗船し、うたせ網漁や太刀魚釣りも体験。その他、芦北海浜総合公園のローラーリユニージュやゾーブも体験され、芦北町を堪能されました。



▲福祉施設の方々に熱烈的な歓迎を受けました

# 大相撲・尾上部屋 芦北散策



▲町内で食材を調達。町民の皆さんも見掛けましたか？▲



▲ゾーブからやっと出ることができました



▲初めてのローラーリ्यूージュに「最高の乗り物です」とご満悦



▲芦北牛の牛舎を視察。肥育について熱心に質問されました



▲うたせ網漁を体験。捕れたての足赤エビを食べました



▲太刀魚釣りは残念な結果でした



## 合宿を終えて

合宿を終えて、尾上親方をはじめ5人の力士に芦北町の感想と11月13日から始まる大相撲九州場所への意気込みを語ってもらいました。

尾上親方「合宿をした芦北町の交流センターは相撲の稽古をするのに九州一の立派な施設だと思う。尾上部屋としては初めての合宿だったが、色々和芦北の人たちにお世話いた

き大変感謝しています。結果を残すことが一番の恩返しだと思っています。来年も芦北に呼んでもらえるよう頑張ります」

把瑠都関「一生懸命応援してもらったり、親切にしてもらったりありがとうございました。これからも一生懸命頑張るので芦北の皆さんも応援して大相撲を盛り上げてください」  
天鑑鵬関「小学校から高校まで芦北には毎年来ていました。相撲離れが言われていますが、芦北にはまわしをつけた子どもたちがたくさんいて初心にかえる思いがしました。郷土力士として注目してほしいです」  
里山関「高校生の大会で芦北に来て以来14年ぶりの芦北でした。町民の皆さんが観覧している中での稽古は本場所と同じような雰囲気稽古できました。勝ち越し目指し頑張ります」

濱栄光「温かい方ばかりでお世話になりました。日頃経験できないうたせ船などの体験ができ嬉しかったです。少しでも昇進できるように頑張ります」  
深海山「小学生のころ、あしきた青少年の家に宿泊に来たことがあります。応援に来てくださった芦北の皆さんのためにも1つでも多く勝ち越してできるよう頑張ります」